

# 寄せられた意見

No. 74


受付日	H17. 11. 4	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名	意見書				

## 意見書

平成 17 年 11 月 4 日

住所 名寄市  
氏名

「住民協働による水質調査」に参加する機会を得ました。  
これまで、流域に住む私共は、川はきれい、川の水量が多い、少ない等、あまり生物的なことまで関心を持たなかったのも事実であります。  
調査に参加し、水面の浮遊物、川底に付着する水生生物等、新たな発見もあり、河川に対する関心を更に深めることが出来ました。  
川底に付着する生物が、魚の餌となり、魚類等の生育環境の保全を担っていることにも気が付き、河川のもつ自然の恵みに改めて感謝した一日でもありました。  
サンルダムに関し、これまでさまざまな意見が報道されています。  
反対派は、ダムによる治水効果への疑問、自然環境や漁業資源への影響等が考慮されていないとの事であります。  
先日の水生生物の生態を調べたとき、名寄川は 8 月の濁水時には、河床が露出している、この川底の生物は一体どうなっているのかと多くの疑問を持ちました。  
サクラマスのが言われているが、サケ成魚の産卵期に水位低下に伴い、河床や川岸が露出し、サケの産卵床など、動植物の成息に必要とされる水の安定補給されなくして自然環境、漁業資源の確保がされているのであろうか、それは、されてないと思うのであります。  
魚類等の生息環境の保全、人々の暮らしにおいても、安全で安定した水源の確保は急がねばなりません。  
又、洪水調整機能をもったダムの建設が是非と考えます。  
天塩川流域委員会で検討された意見を基に、一日も早いダムの完成を望みます。

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています